

# 沖縄県における国保運営の将来像（目指すべき姿）について

## 制度改革の基本理念

持続可能な医療保険制度とするため、運営を都道府県単位化

現状の住民相互が支え合う仕組みに市町村相互の支え合いの仕組みを付加

・制度の安定化  
・負担の公平化  
(保険料の見える化)

### 現状

同じ世帯構成・所得水準でも、住んでいる市町村によって保険料が異なる

### 理想

同じ世帯構成・所得水準であれば、県内どの市町村に住んでいても保険料が同じ

### 解決策

県単位で保険料を統一

被保険者にとって公平でわかりやすい制度

⇒ 沖縄県国保の安定的運営を実現

### 保険料が異なる要因

- ① 現行の納付金算定方法
  - ・市町村ごとの医療費水準の高低を納付金に反映している
- ② 市町村における政策的な保険料抑制
  - ・決算補填目的の一般会計繰入
  - ・前年度繰上充用
- ③ 収納率の市町村間格差
  - ・H30年度収納率：90.45%～100%
- ④ 医療費水準の市町村間格差
  - ・H29医療費の地域差指数：0.618～1.236
- ⑤ 市町村間での給付サービスの相違
  - ・葬祭費の支給単価
  - ・保健事業、はり・きゅう助成事業 等

### 保険料を統一するための対応策

- ① 納付金算定方法の見直し
  - ・医療費水準の高低を納付金に反映しない（県全体での支え合い）
- ② 国保財政赤字解消の取組
  - ・各市町村が定めた赤字解消計画（原則6年計画）に基づく取組
- ③ 収納対策の充実・強化
  - ・県が主催する収納対策研修会
  - ・市町村間の情報交換・連携協力
- ④ 医療費適正化の取組
  - ・H29年度に策定した医療費適正化計画に基づく取組
- ⑤ 市町村事務の標準化推進
  - ・任意給付や市町村単独事業実施基準等の標準化

# 沖縄県における国保運営の将来像（目指すべき姿）の実現に向けた工程表

